

2018年度（2019年3月期）
連結決算の概要

2019年5月10日

株式会社 キムラタン

I 2018年度連結決算の概要

II 2019-2020 事業計画

2018年度連結決算サマリー

黒字化計画 の要諦

① 構造改革

固定費・販管費の削減

製造原価率・粗利益率の改善

在庫正常化・キャッシュフローの改善

② 成長業態の選択

成長を期すべき業態をネット、Bobsonに絞込み

③ 新たな利益の付加

新たな条件設定によるテナント出店開始

2018年度 業績目標

2018年度に赤字半減（対2017年度）を目指した

売上高 49億円 （前期比 +13.3%）

営業利益 △1億70百万円 （対前期 +2億17百万円）

当期純利益 △2億円 （対前期 +2億69百万円）

2018年度 業績

減収、赤字幅拡大・4期連続損失計上

売上高 40億42百万円 （前期比 △6.5%）

営業利益 △6億22百万円 （対前期 △2億34百万円）

当期純利益 △6億54百万円 （対前期 △1億85百万円）

2018年度連結業績サマリー

既存店売上の苦戦により全社で前期比6.5%の減収となり赤字幅が拡大

単位：百万円

	2017年度	2018年度	前期比(%)
売上高	4,325	4,042	△6.5
売上総利益	2,139	1,970	△7.9
売上総利益率	49.5%	48.7%	△0.8pt
販管費	2,527	2,592	+2.6
営業利益	△387	△622	—
営業外損益	△36	△17	—
経常利益	△424	△639	—
特別損益	△42	△9	—
当期純利益	△469	△654	—

主な変動要因

売上高 前期比 △6.5%

既存店売上高が豪雨・台風の影響もあり苦戦

アパレル事業全体で前期比△7.6%

売上総利益率 対前期 △0.8ポイント

在庫消化のための値引販売増による

販売費・一般管理費 前期比 +2.6%

新規出店経費、配送単価上昇、M&A関連費用増があるが

本社賃料・役員報酬等の固定費削減による減少により、

アパレル事業では前期比 △0.4%

保育園事業・ウェアラブルIoT事業経費が純増となる

営業外損益

支払利息・借入手数料・株式交付費が減少

特別損益

M&Aに関連し負ののれん発生益を計上

減損、たな卸評価損等を保守的に計上

2018年度業態別の分析

既存店売上が低調に推移しネット通販も後半伸び悩み

単位：百万円

	2017年度	2018年度	前期比(%)
全社売上高	4,325	4,042	△6.5
■ Baby Plaza	2,284	2,063	△9.7
■ BOBSON	672	646	△3.8
■ テナント	224	297	+32.7
■ ネット通販	819	825	+0.7
■ 専門店卸	279	196	△29.7
■ 海外	41	△33	—
■ その他	2	46	—

主な変動要因

- Baby Plaza（既存店売上前期比 △9.6%）
豪雨・台風の影響もあり夏物販売が不調
- BOBON（既存店売上前期比 △3.5%）
在庫調整進むが新商品販売減収、雑貨アイテムは増収
- テナントショップ（既存店売上高 △10.5%）
新テナントショップ7店舗開設するが販売計画は未達
- ネット通販
年度後半は伸び悩み概ね前期なみの実績にとどまる
- 専門店卸
2018年夏以降受注低迷し大幅減収となる
- 海外
既存先からの返品引き取りによるマイナス
- 保育園
魅力ある園づくりに努め定員確保。安定的収益見込む

2018年度連結バランスシート

中西(株)の株式取得により大きく変動。当社在庫は1億30百万円の削減進む

単位：百万円

	2018年 3月末	2019年 3月末	増減
総資産	2,418	2,998	580
流動資産	2,290	2,613	322
現金・預金	356	472	115
受取手形・売掛金	588	676	97
商品及び製品	1,231	1,347	115
固定資産	127	385	257
負債	1,185	1,933	747
買掛金	53	128	74
借入金	831	1,496	664
純資産	1,232	1,065	△167

主な変動要因

現金・預金

在庫削減により営業CFのマイナス幅は縮小
中西(株)の現金・預金が増加

商品及び製品

販売強化により当社在庫は1億31百万円減少
中西(株)在庫が増加

借入金

当社借入金は1億62百万円減少

純資産

増減は、主に当期純損失△6億54百万円と
増資による資本金等の増加4億85百万円による

2018年度連結キャッシュ・フロー計算書

在庫圧縮は進むが赤字拡大により営業CFのマイナス幅は小幅改善にとどまる

単位：百万円

	2017年度	2018年度	増減
営業キャッシュ・フロー	△437	△369	67
税金等調整前当期純損失	△466	△649	△182
減価償却費	28	27	△0
売上債権の増減（△は増加）	△50	81	132
たな卸資産の増減（△は増加）	50	131	80
仕入債務の増減（△は減少）	△80	40	120
その他	81	△1	△83
投資キャッシュ・フロー	△39	130	169
財務キャッシュ・フロー	557	313	△243
現金・現金同等物期末残高	356	429	73

営業キャッシュ・フロー

在庫圧縮は進むが赤字拡大によりマイナス幅は小幅縮小にとどまる

投資キャッシュ・フロー

主に本社設備、店舗設備の取得による支出と中西(株)M&Aによる収入

財務キャッシュ・フロー

主に借入金の純減1億62百万円と新株式の発行による収入4億78百万円による

I 2018年度連結決算の概要

II 2019-2020 事業計画

Core Value – 中核的価値観 –

Speed

全てにおいてスピードを優先し、限られた資源を最大限に活用することにより、生産性を高めることを目指します

Speed

Change

Change

“change or dead.” 革新なければ衰退あるのみ”この覚悟で、今までの常識にとらわれず、新たな挑戦を行います

Innovation

Innovation

全部門・全スタッフによる日々の改善、改良の積み重ねで、全社最適の改革を引き起こします

2019-2020 事業戦略

「短期戦略」と「中期戦略」を同時に実行

着手済の戦略（～2019年4月）

店舗運営体制改革

組織構造改革

経費削減

短期戦略（～2019年8月）

ブランド・リニューアル

粗利率の向上

会員数の増加

中期戦略（～2019年12月）

M&A戦略

ウェアラブルIoT事業

海外戦略

着手済みの戦略（～2019年4月までに整備）

店舗運営体制の改革

- ・ 本社からの**ダイレクト**な店舗運営
- ・ 本部⇔店舗間の**双方向**の情報共有
- ・ **きめ細か**な店舗フォロー
- ・ **スピード感**のある店舗づくり

売上拡大
経費削減

組織構造の改革

- ・ **フラット**かつ**ダイレクト**な組織
- ・ 部署を横断した**プロジェクト会議**設置

意思決定のスピードと
生産性の向上

経費削減

- ・ 店舗運営体制の見直し
- ・ 店舗採算管理の強化
- ・ 本社従業員の残業代
- ・ その他固定費削減(費用対効果)

1億65百万円削減

短期戦略

ブランド・リニューアル

日本製ブランド「愛情設計」を全面的にリニューアル（2019年8月）
アウトウェアブランドにトレンド性を追求した新ラインを投入
ブランド・コンセプト、シーズン・テーマの明確化と魅力ある売場づくり

新規顧客のニーズを充足させ売上増につなげる

粗利率の向上

原価率低減

- ・生産管理体制強化
- ・生産拠点の見直し
- ・早期発注・ロット拡大



プロパー販売向上

- ・シーズンテーマ明確化
- ・VMDの強化
- ・セール品との差別化



粗利率向上

会員数の増加

店舗を販売拠点としてだけでなく、ブランド・コンセプトの発信拠点と位置づけ

リアルとECの一体化を図り、会員数増を目指す

中期戦略（～2019年12月）

M&A戦略

- ・ **同業他社とのシナジー**
販路・ノウハウの共有、販管費抑制などのシナジー効果最大化
- ・ **異業種への展開**
子育て応援企業として、子ども関連、ファミリーを対象とする異業種分野への進出を狙う

2019年3月
子供向け服飾雑貨メーカー
中西株式会社の全株式を
取得・子会社化

ウェアラブルIoT事業

- ・ **特徴**
体温、心拍、健康状態を把握し、午睡時や熱中症などの事故を未然に防止することを目指す
- ・ **差別化**
心電波形を読み解くことで、より正確性の高い情報を提供
子供服メーカーとして、日常着用しやすい衣料の提供

2019年内に開発完了
年内の発売開始を目指す

海外戦略

- ・ 海外パートナー・シップを再構築

総合的海外戦略

2019年度 数値目標

2019年度 数値目標

利益改善目標	6億60 百万円（対2018年度）
売上高	57 億円（中西(株)を含まない単体46億円）
営業利益	30 百万円
最終利益	5 百万円

事業改善 サマリー

- ・ 売上拡大による利益改善 **1億40**百万円
Baby Plaza、Bobson,EC（ネット通販）の増収効果
- ・ 粗利率向上による利益改善 **1億60**百万円
店舗、ECの粗利率向上による改善額
- ・ 経費削減による利益改善 **1億35**百万円
経費削減 165M－経費増 30M
- ・ 赤字事業の利益改善 **1億5**百万円
海外事業、テナント事業、卸事業
- ・ M&Aによる利益貢献 **30**百万円
中西(株)のM&A効果
- ・ 2018年度一時費用の消失 **90**百万円